

本検討会における検討課題と論点

検討課題 1：長時間継続する津波の時間的推移に応じた情報提供のあり方

- ・防災対応が長く継続する津波発生時に、津波の減衰も含めた津波現象全体を通じた情報提供のあり方について、特に津波の実況や見通しに関する情報をどのように提供するか of 具体の検討が進んでいない。
- ・長時間継続する津波に対して、避難の継続や人命救助活動等への支援のため、警報等に加えて、いつ、どのような津波の情報（実況や経過、見通し等）が必要か。

<論点>

- 「津波情報」や報道発表、災害対策本部等への解説を通じた情報提供において、津波襲来中の避難の継続の徹底や、津波の減衰段階における人命救助活動等の防災対応の支援を目的として、事象の推移に応じて、津波の実況や経過、見通し等気象庁が持つ情報を効果的に提供・解説するためには、いつ、何を伝えるべきか。
- 津波警報等で引き続き避難を呼びかけている最中に、津波の実況や経過、見通し等を情報提供するにあたって考慮すべき事項はなにか。
 - ・避難の継続を阻害することがないようにどのような伝え方をすべきか
 - ・災害時には情報の取得方法が制限されている状況も考慮し、事象の推移に応じて、伝えるべき事項の優先順位を整理する必要があるのではないか

検討課題 2：普及啓発で取り上げるべき長時間継続する津波の特徴や留意事項

- ・長時間継続する津波の特徴について、普及啓発ができていない。
- ・事前の普及啓発で取り上げるべき、津波の全体像や減衰時の特徴及び留意事項は何か。

<論点>

- 長時間継続する津波の特徴について、どのような内容を普及啓発することが効果的か。
- 適切な防災対応につなげるために、形成しておくのが望ましい共通認識はなにか。
- 単に特徴や留意事項の羅列にならないよう、普及啓発で取り上げるべき内容を、津波のパターン別に分類・類型化できないか。